

後に橘の歌に追和する二首

四〇六三番

常世物とこよもの この橘たちばなの いや照てりに わが大君おほきみは 今いまも見るみごと

四〇六四番

大君おほきみは 常磐ときにまさむ 橘たちばなの 殿とのの橘たちばな ひた照てりにして

射水郡の駅館の屋の柱に題著せる歌一首

四〇六五番

朝開あさびらき 入江いりえ漕こぐなる 梶かぢの音おとの つばらつばらに 我家わがし思おもほゆ